

「県立高校改革推進プラン・ 第2次実施プログラム(案)」 に関する説明会

令和7年6月27日
千葉県教育委員会

1

本日の構成

第Ⅰ部

これまでの県立高校改革と
「県立高校改革推進プラン・第2次実施プログラム(案)」

第Ⅱ部

八千代東高校と八千代西高校について

2

第I部

これまでの県立高校改革と
「県立高校改革推進プラン・第2次実施プログラム(案)」



3

計画・プラン と 実施プログラム



4

県立高校改革推進プラン



計画期間内の基本的な考え方

R4 > R5 > R6 > **R7** > R8 > R9 > R10 > R11 > R12 > R13

実施
プログラム

第1次実施
プログラム

12項目
18校

第2次実施
プログラム(案)

9項目
15校

5

県立高校改革推進プラン 第2次実施プログラム(案)



6

第2次実施プログラム（案）が目指す方向性

- 1 県南部や東部の小規模校の活性化と地域を支える人材の育成
- 2 水産系高校の学びの魅力化
- 3 工業系学科の学びの魅力化
- 4 少子化への対応と多様なニーズに応える新しい学校づくり
- 5 進学指導重点校の更なる充実

7

1 県南部や東部の小規模校の活性化と地域を支える人材の育成

対象校	実施年度
多古・市原	令和9年度

地域連携協働校に指定

地域と連携した取組の推進
ICT機器を活用した学校間の遠隔授業を実施するなど、小規模校での教育活動の充実を図る

地域社会に関する学びの導入

多古:空港関連人材の育成 市原:探究学習を通じた地域人材の育成

8

2 水産系高校の学びの魅力化

対象校	実施年度
銚子商業・大原・館山総合	令和9年度

地域性を生かした学びの充実

銚子商業:洋上風力発電 大原:栽培漁業、マリンレジャー 館山総合:沿岸漁業

専攻科の廃止(R12)、大型実習船の見直し

県内遠隔地からの生徒受入体制の検討

地元市等と連携し、県内遠隔地からの生徒募集に係る受入体制づくりを検討

9

3 工業系学科の学びの魅力化

対象校	実施年度
東総工業・茂原樟陽	令和9年度

工業系学科の再構成

東総工業	4学科(電子機械・電気・情報技術・建設)を3学科に再構成
------	------------------------------

茂原樟陽	3学科(電子機械・電気・環境化学)を2学科に再構成
------	---------------------------

実習設備の更新、新しい学科名の検討

工業教育の充実

県内の工業系高校に、企業と連携したデュアルシステムを導入

10

第2次実施プログラム（案）が目指す方向性

- 1 県南部や東部の小規模校の活性化と地域を支える人材の育成
- 2 水産系高校の学びの魅力化
- 3 工業系学科の学びの魅力化
- 4 少子化への対応と多様なニーズに応える新しい学校づくり
- 5 進学指導重点校の更なる充実

11

5 進学指導重点校の更なる充実

対象校	実施年度
柏・佐原	令和9年度

単位制の導入

進学指導重点校のうち単位制未導入の2校へ導入、進学実績の更なる向上を図る

理数教育の充実

先進企業や研究機関、大学等との連携を通じ、理数教育の充実を図る

12

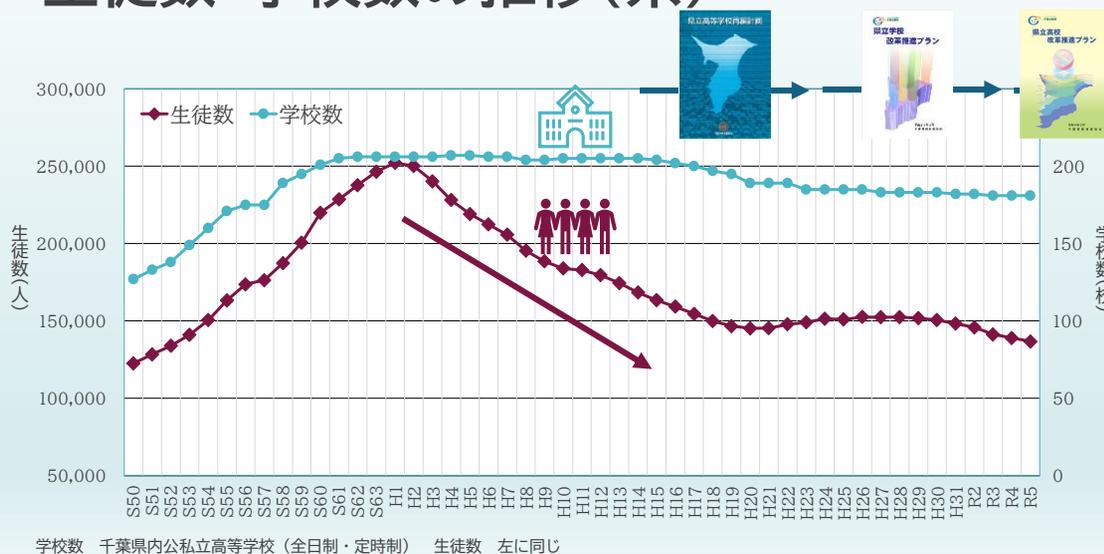
4 少子化への対応と多様なニーズに応える新しい学校づくり

対象校	実施年度
八千代東・八千代西	令和10年度
船橋豊富・船橋北	
沼南・沼南高柳	

3組6校の統合を実施
学びの魅力化の推進

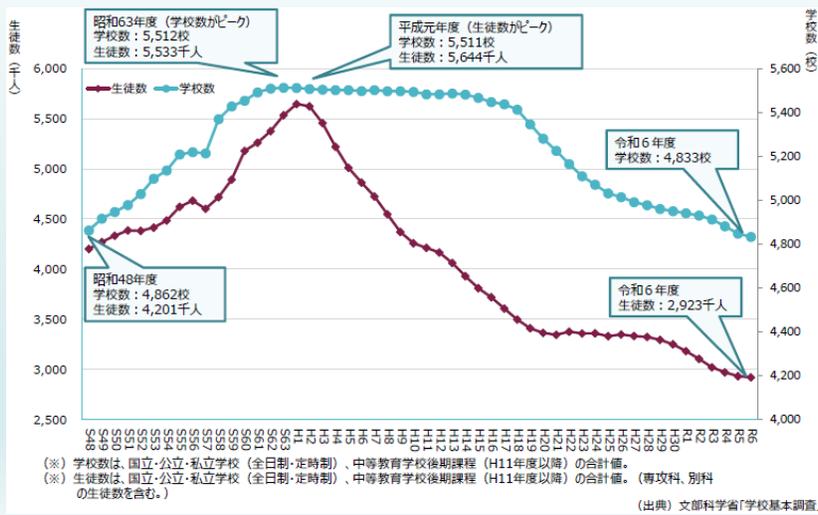
13

生徒数・学校数の推移(県)



14

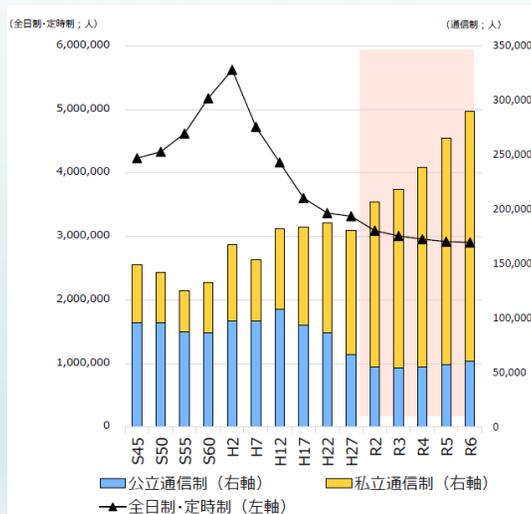
生徒数・学校数の推移(全国)




 -679校


 -272.1万人

通信制の在籍者増加(全国)

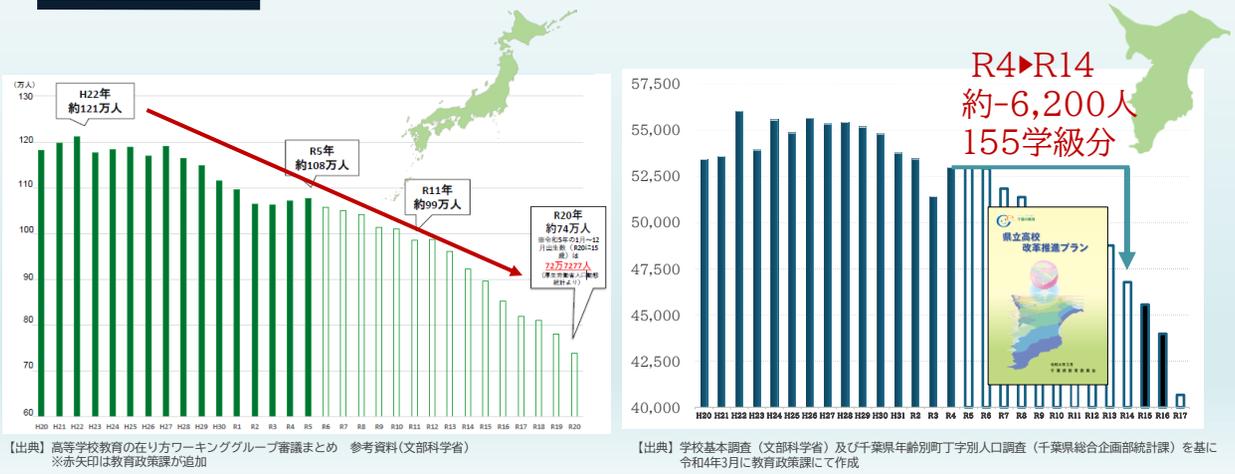



 私立通信制
 約23万人


 公立通信制
 約6万人

【出典】高等学校教育の在り方ワーキンググループ審議まとめ 参考資料(文部科学省)

15歳人口(中学校卒業生)の減少見込み



17

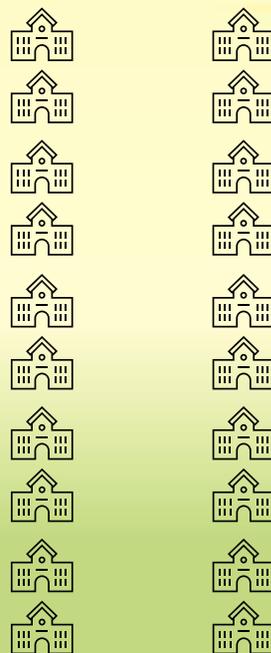
統合の予定



中学校卒業生数の減少
6,200名減 155学級分



10組程度の統合を予定

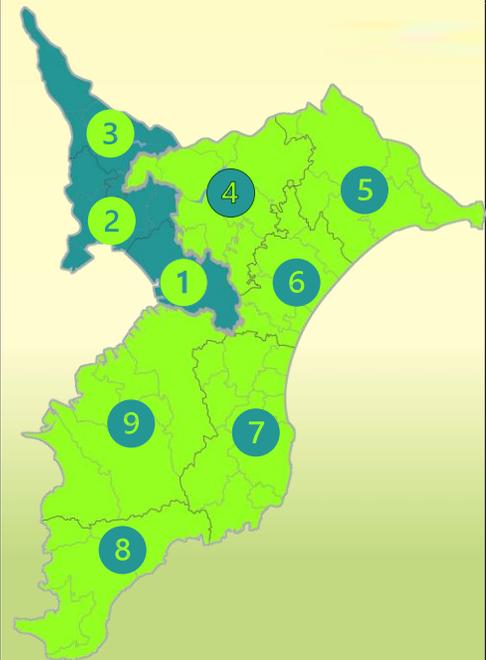


18

都市部と県南部や東部 適正規模



1学年あたりの学級数

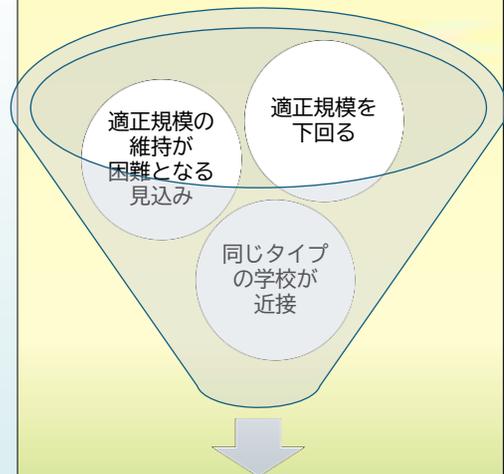
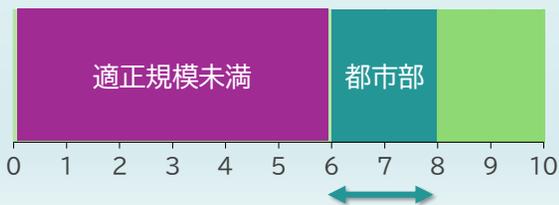


19

都市部 統合の基本的な考え方



1学年あたりの学級数



適正配置を考慮しながら統合より魅力ある学校への再編

20

4 少子化への対応と多様なニーズに応える新しい学校づくり

対象校	使用校舎
八千代東・八千代西	八千代東

学びの多様化学校(コース制)の設置

普通科6学級募集(予定)のうち、1学級に不登校生徒への支援を図るコース設置
校内サポートルームの設置、遠隔授業のためのICT機器の整備

単位制の導入

両校の取り組みを継承、キャリア形成を踏まえた実践的な学び

21

4 少子化への対応と多様なニーズに応える新しい学校づくり

対象校	使用校舎
船橋豊富・船橋北	船橋豊富

総合学科高校の設置(単位制)

系列設置例(仮称)	
ウェルビーイング系列	情報クリエイター系列
スポーツ科学系列	一般教養系列

新しい学びに係るICT等の最新機器の整備、外壁塗装・トイレ等の改修を実施

22

4 少子化への対応と多様なニーズに応える新しい学校づくり

対象校	使用校舎
沼南・沼南高柳	沼南高柳

フレキシブルスクール(定時制と通信制の併置)

昼間二部定時制高校(午前部・午後部)に通信制の課程を併置(県内初)

定時制:1日4時限を基本 他部履修や定通併修を活用し三年間の卒業も可能

通信制:レポートやスクーリングのオンライン化を推進

施設:ラウンジの設置、ICT機器の整備、外壁塗装・トイレ等の改修を実施

第Ⅱ部の説明へと続きます

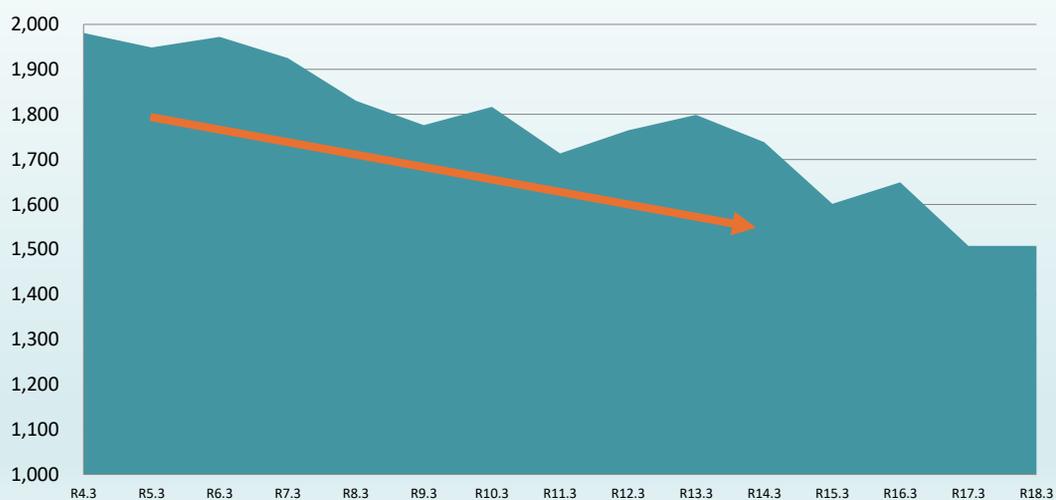
第Ⅱ部

八千代東高校と八千代西高校について



25

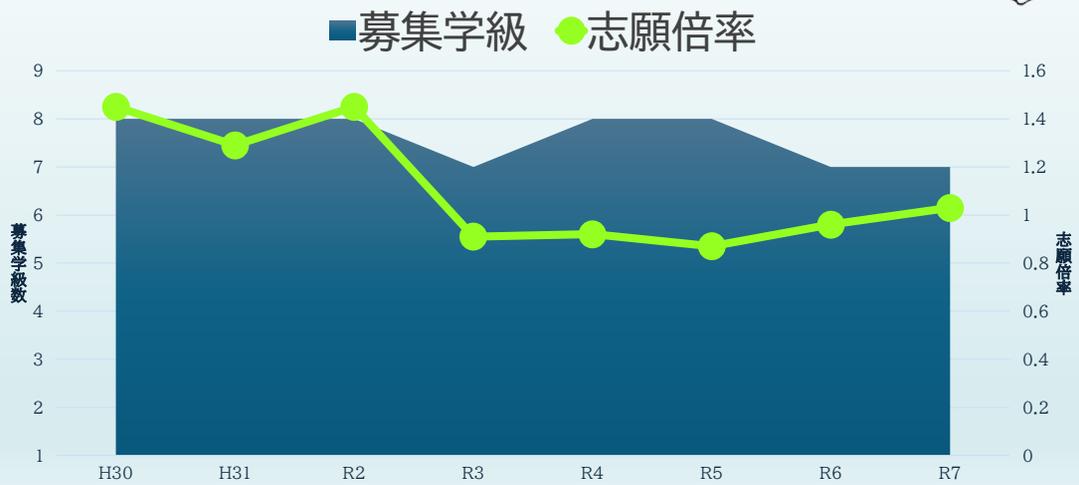
八千代市 国公立私立中学校卒業者の推移



【出典】 学校基本調査（文部科学省）及び千葉県年齢別町丁目別人口調査（千葉県総合企画部統計課）を基に令和4年3月に教育政策課にて作成

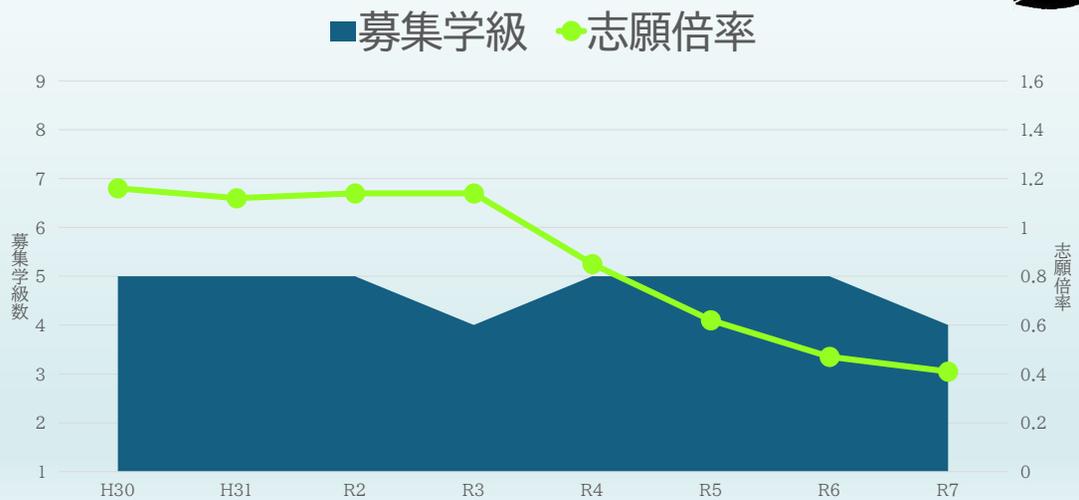
26

八千代東高校



27

八千代西高校



28

活力ある教育活動を展開するために

- 八千代市において、中学校卒業者は減少…
今後も減少する見込み
- 両校において、生徒募集に苦慮
特に、八千代西高校では、定員未充足が続いている



統合により

◎ 教育課程の柔軟な編成や、活力ある教育活動を展開します ◎

29

両校の位置関係



出典 地理院地図Vectorを加工

30

4 少子化への対応と多様なニーズに応える新しい学校づくり

対象校	使用校舎
八千代東・八千代西	八千代東

学びの多様化学校(コース制)の設置

普通科6学級募集(予定)のうち、1学級に不登校生徒への支援を図るコース設置
校内サポートルームの設置、遠隔授業のためのICT機器の整備

単位制の導入

両校の取り組みを継承、キャリア形成を踏まえた実践的な学び

31

使用校舎の選定にあたり考慮した要素

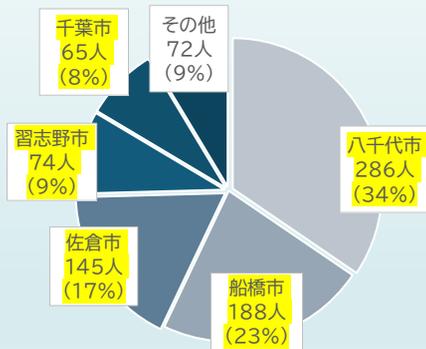


- 教室数、施設設備
- 施設面積
- 通学の利便性

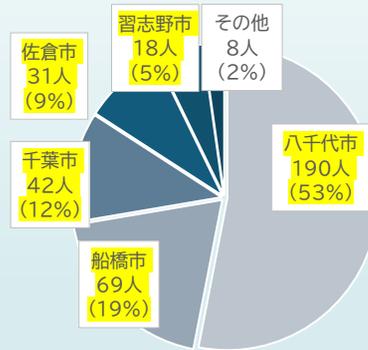
32

どこから通学しているか

八千代東高校



八千代西高校



【出典】令和6年度 教育政策課調べ

33



34

統合校の目指す姿 (1) 学びの多様化学校

全日制課程
普通科

学びの多様化
学校(コース)

複数担任制

きめ細かな教育相談体制

特色ある教科や科目

ICT環境を整備

遠隔授業

35

統合校の目指す姿 (2) 学校全体

全日制課程
普通科

学びの多様化
学校(コース)

単位制を導入

少人数

個別最適な学びを展開

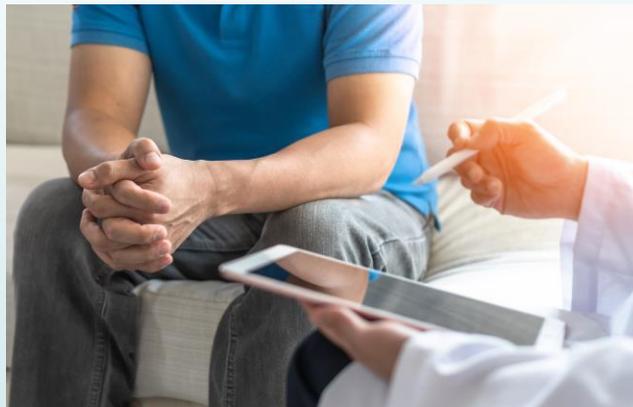
習熟度別学習

協働的な学び

36

統合校の目指す姿 (3) 施設・設備

校内サポートルームを設置
校舎の改修



37

統合校の目指す姿 (4) 校名、制服、校章

統合準備室を中心に決定

アンケートを実施、
両校のPTA、保護者会や同窓会等から
意見を聴取

校名決定までのプロセス

アンケート
意見聴取

案策定

県議会にて
決定

38

在校生の皆さまへ



39

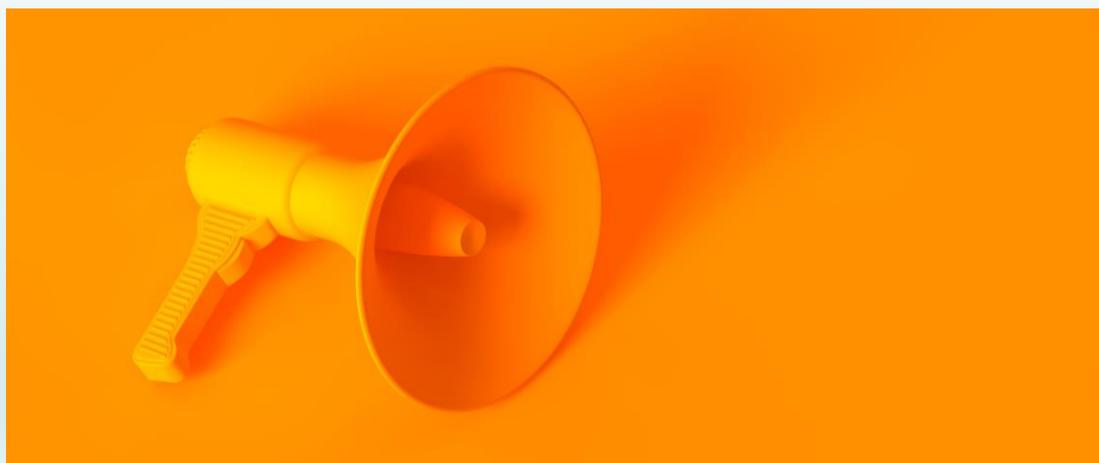
卒業する学校

両校の生徒として卒業
令和7年4月入学者は
令和10年3月に
両校の生徒として卒業
証明書発行事務は統合校が
引き継ぎます



40

受検生の皆さまへ



41

令和8年4月入学生

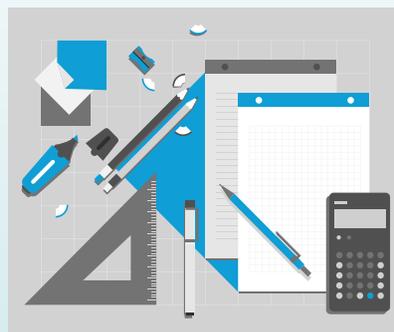
- 3年生に進級するときに統合
- 1年間、統合後の新しい学校の校舎で学ぶ
- 統合前の学校の教育課程を継続
- 統合後の新しい学校の生徒として卒業
- 卒業証明書に旧校名、統合時期等を記載



42

令和9年4月入学生

- 2年生に進級するときに統合
- 1年間、統合後の新しい学校の校舎で学ぶ
- 統合前の学校の教育課程を継続
- 統合後の新しい学校の生徒として卒業
- 卒業証明書に旧校名、統合時期等を記載



43

令和10年4月入学生

- 統合校の1期生として入学



44

説明は以上となります。
この後、2点連絡事項を申し上げた後、
質疑応答の時間へと移ります。

45

連絡事項 (1) パブリックコメント

7月25日(金)まで

意見提出様式に記入し、
メール、郵送、FAXにて送付



46

連絡事項 (2) 今後の予定

説明会、パブリックコメントで意見をうかがう
関係団体より意見を聴取

今年度内に第2次実施プログラムを策定予定



47

ご清聴ありがとうございました

48

質疑応答



ご意見やご質問のある方は、手を挙げてください。

ご発言の前には

お名前

お立場(保護者、地域住民の方など)

をお伝えいただければ幸いです。



49

説明会は以上となります。
ご来場いただき、ありがとうございました。

50